

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年1月16日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年1月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【消防車車庫会議室のエアコンの冷媒漏えいについて】 当社社員が、消防車車庫会議室のエアコンから温風が出ないことを確認。 調査の結果、冷媒漏えいと判断。 今後、当該エアコンの修理および冷媒の再充填を実施予定。 なお、冷媒漏えいについては、相双地方振興局に報告済み。</p>	GⅢ	1月10日
2	<p>【5号機残留熱除去海水系(A)系出口ストレーナ排水弁の詰まりについて】 当社運転員が、5号機残留熱除去海水系(A)系の点検に伴い、海水系の水抜きのため、残留熱除去海水系(A)系出口ストレーナ排水弁を開操作したところ、水が出ないことを確認。 調査の結果、当該配管の詰まり、若しくは弁の詰まりと判断。 なお、残留熱除去海水系(A)系の点検については、他の排水弁にて水抜きを行ったため、影響はなし。 今後、当該配管及び弁の点検・清掃を実施予定。</p>	GⅢ	1月10日
3	<p>【6号機残留熱除去海水系ポンプ(B)出口弁下流側フランジからの漏えいについて】 当社運転員が、6号機残留熱除去系(B)系の定例試験のため、残留熱除去海水系ポンプ(B)を起動したところ、残留熱除去海水系ポンプ(B)出口配管下部より1滴/秒の水の滴下を確認。 保温材を外して確認した結果、残留熱除去海水系ポンプ(B)出口弁下流側フランジからの水の滴下を確認。 当該設備は屋外に設置された海水系で滴下量が少量であり、運転時に定格流量が確保できていることから系統への影響はなし。 今後、当該フランジの増締めを実施し、弁フランジの点検に合わせガスケット交換を実施予定。</p>	GⅢ	1月11日